

別紙2 「口腔機能発達不全症」チェックリスト（離乳完了後）

No.	氏名	生年月日	年 月 日	年齢	歳 月
-----	----	------	-------	----	-----

A 機能	B 分類	C 項目	D 該当項目	管理の 必要性
食べる	咀嚼機能	C-1 歯の萌出に遅れがある	☐	□
		C-2 機能的因子による歯列・咬合の異常がある	☐	
		C-3 咀嚼に影響するう蝕がある	☐	
		C-4 強く咬みしめられない	☐	
		C-5 咀嚼時間が長すぎる、短すぎる	☐	
		C-6 偏咀嚼がある	☐ 1つ以上	
	嚥下機能	C-7 舌の突出(乳児嚥下の残存)がみられる(離乳完了後)	☐	□
	食行動	C-8 哺乳量・食べる量、回数が多すぎたり少なすぎたりムラがあるなど	☐	□
話す	構音機能	C-9 構音に障害がある(音の置換、省略、歪みなどがある)	☐	□
		C-10 口唇の閉鎖不全がある(安静時に口唇閉鎖を認めない)	☐	□
		C-11 口腔習癖がある	☐	□
		C-12 舌小帯に異常がある	☐ 2つ以上	□
その他	栄養 (体格)	C-13 やせ、または肥満である (カウプ指数、ローレル指数**で評価) 現在 体重 kg 身長 cm カウプ指数・ローレル指数:	☐	□
	その他	C-14 口呼吸がある	☐	□
		C-15 口蓋扁桃等に肥大がある	☐	
		C-16 睡眠時のいびきがある	☐	
		C-17 舌を口蓋に押しつける力が弱い(低舌圧である)	☐	
		C-18 上記以外の問題点 (		

「上記以外の問題点」とは口腔機能発達評価マニュアルのステージ別チェックリストの該当する項目がある場合に記入する。

（参考資料） カウプ指数（6歳未満の幼児） $[\text{体重}(\text{g})/\text{身長}(\text{cm})^2] \times 10$

ローレル指数（6歳以上の学童） $[\text{体重}(\text{g})/\text{身長}(\text{cm})^3] \times 10^4$

チェック



↓

チェック

カウプ指数	判定
22 以上	肥満
19～22 未満	肥満傾向
15～19 未満	正常範囲
13～15 未満	やせぎみ
10～13 未満	やせ

チェック



↓

チェック

ローレル指数	判定
160 以上	肥満
145～160 未満	肥満気味
115～145 未満	標準
100～115 未満	やせぎみ
100 未満	やせ